

3月 弥生・花見月 March

| | | |
|---|----|--------------|
| 木 | 1 | 友引 |
| 金 | 2 | 先負 初午宵宮 |
| 土 | 3 | 仏滅 初午大祭 |
| 日 | 4 | 大安 休日営業16時まで |
| 月 | 5 | 赤口 |
| 火 | 6 | 先勝・啓蟄 |
| 水 | 7 | 友引 |
| 木 | 8 | 先負 |
| 金 | 9 | 仏滅 |
| 土 | 10 | 大安 |
| 日 | 11 | 赤口 定休日 |
| 月 | 12 | 先勝 |
| 火 | 13 | 友引 |
| 水 | 14 | 先負 |
| 木 | 15 | 仏滅 プチ茶会 |
| 金 | 16 | 大安 プチ茶会 |
| 土 | 17 | 友引 プチ茶会 |
| 日 | 18 | 先負 定休日 |
| 月 | 19 | 仏滅 |
| 火 | 20 | 大安 |
| 水 | 21 | 赤口・春分の日 定休日 |
| 木 | 22 | 先勝 |
| 金 | 23 | 友引 |
| 土 | 24 | 先負 |
| 日 | 25 | 仏滅 休日営業16時まで |
| 月 | 26 | 大安 |
| 火 | 27 | 赤口 |
| 水 | 28 | 先勝 |
| 木 | 29 | 友引 |
| 金 | 30 | 先負 |
| 土 | 31 | 仏滅 |

九代大樋 聖写茶碗
鵬雲斎花押彫



本歌は仙叟好初代長左衛門の作。初代長左衛門は五代藩主前田綱紀の茶頭として招かれた仙叟に伴われて加賀に下った四代一入に学ぶ。胴部の三方に櫛目がたてられ、高台は丸く高い兜巾が作られている。作行もおもしろい。

プチ茶会ご案内

毎年ご好評をいただいております「夜咄」の雰囲気のあるプチ茶会を、今回も一階小間席にてお楽しみいただきます。どうかお気軽にお洋服にてでもお立ち寄り下さいませ。

3/15 木
3/16 金
3/17 土

於 1階小間席 9:00am ~ 4:00pm

月刊 いつもの



(題字・三輪休和)

101号

2018年3月発行

華乃会発会茶会には、多くの会員様にご来喫頂きましてありがとうございました。当日の会記を掲載いたします。

【華乃会】発会茶会会記 於 ギャラリー森田二階 松華軒 2/10・11

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|------------|-------------|--------|------------|---------|----------|-------|--------------|----------|--------------|---------|------------|-----------|-----------|-------|---------|-----------|-----------|---------|-------------|------------|----------|
| 干菓子器 玄々斎好輪花盆 | 菓子器 呉須赤絵魁鉢 | 菓子器 太宰府藤丸製 | 蓋置 青袖つくね寛入造 | 建水 砂張平 | 茶杓 寛々斎「初音」 | 替 黒・赤一雙 | 替 半泥子百ノ内 | 替 左入黒 | 薄茶主 緑々斎箱 黒面翁 | 茶碗 二代常慶黒 | 濃茶主 吸江斎箱「笑尉」 | 薄茶器 嵯峨斎 | 濃茶器 垣鼻肩衝茶入 | 水指 古阿蘭陀耳付 | 棚 桐木地利休袋棚 | 炉緑 真塗 | 釜 淡々斎在判 | 香合 ノンカウ茄子 | 花入 遠州竹一重切 | 花 加茂本阿弥 | 本席 雪北嶺寒梅南枝香 | 脇床 伊勢海老のひげ | 寄付 中村左洲筆 |
|--------------|------------|------------|-------------|--------|------------|---------|----------|-------|--------------|----------|--------------|---------|------------|-----------|-----------|-------|---------|-----------|-----------|---------|-------------|------------|----------|



黒面取桜茶碗

¥105,000

The お道具拝見 【新作・通次阿山 つうじあさん】

通次阿山は陶芸家の父、通次寛斎の息子として昭和13年に京都に生まれました。九谷焼の名工でもあった雲外を祖父に持ち、阿山は3代目にあたる。絵の技術を池田道夫に学び、陶芸の技術は父寛斎に学んだ。また池田道夫は父池田通邨(文化勲章を受章)の息子として京都に生まれ、松原三五郎の天彩画塾に入り洋画を学んだ後、日本画を学んだ。阿山の斬新な絵付のルーツがうかがえる。



春の野茶碗

¥86,000

3月号 季節のお買得商品

☎ 0598-21-3178



菊池正光 東陽坊釜

74,300 → ¥52,000

東陽坊釜は、本歌は天命作で、利休所持の釜を門人の東陽坊長盛に贈ったところからこの名がある。長盛は長次郎作黒茶碗「東陽坊」を所持したことで知られ、現在建仁寺方丈裏庭にある茶室「東陽坊」は北野大茶会で長盛の好みによってつくられた副席と伝えられている。

高橋敬典 桜川地紋透木釜 (新古商品)



ワンプライス ¥80,000

透木釜の中で最も有名な名物「平蜘蛛釜」戦国時代の名武将松永久秀は、信長より幾度も所望されていたものの決して手放さず、釜と共に爆死したと伝えられている。諸説ありますが、その後、信長により見つけ出されたものが、浜名湖館山寺美術博物館に展示されている。



高野昭阿弥 都鳥香合

5,800 → ¥4,000

武蔵の国と下総の国の中にある、隅田川のほとりにいたりて、都のいと恋しうおぼえければ、しばし川のほとりに下りみて、思ひやればかぎりなく遠くもきにけるかな、と思ひわびてながめをるに、(中略)渡守に、「これは何鳥ぞ」と問ひければ、「これなむ都鳥」と言ひけるを聞きてよめる 伊勢物語の9段 東下り 在原業平



坂下雄峰 伝来写笹中棗

¥47,600 → ¥33,000

清五郎 さび黒仕上釣釜セット



¥34,000 → ¥23,800

金谷定林 桜五徳蓋置



17,300 → ¥12,000



南口閑幹 春の小川茶碗

¥29,500 → ¥20,600



福本未来 流水に桜茶碗

¥28,600 → ¥20,000



新井京華 墨紫釉桜茶碗

¥23,700 → ¥16,600

編集の窓



伊吹野の州浜草

photo by SA

三月になり里山が徐々に雪解けを迎える頃、節分草まつりが開催される米原の伊吹山麓の伊吹野でアズマイチゲなどの春を告げる花たちと共に雪割草ともいわれる白くてとても愛らしいスハマソウが咲き始める。スハマソウは早春に一番早く花をつける野草。洲浜草と書き、葉先が丸くその形が家紋にも用いられる「洲浜」という文様(海岸の弧状になった砂浜に似ていること)に由来するらしい。

当店では、皆様にお抹茶を楽しんで頂けるようお待ちしております。近くにお越しの際は気軽に遊びにいらして下さい(女性スタッフより)

ギャラリー森田ホームページ
<http://www.gallery-morita.co.jp/>

gallery morita スタッフぶろぐ
<http://ameblo.jp/gallerymorita/>

■ご不要になりましたお道具など どうぞお売り下さい。

月刊「ギャラリーさん」 編集プロジェクト

利休立像 佐久間芳丘作



ご案内

facebook



Instagram 始めました